

新たな息吹 SINCE2007



さわの里だより

横浜市立さわの里小学校 学校だより

URL <http://www.edu.city.yokohama.lg.jp/school/es/sawanosato>E-mail y3sawano@edu.city.yokohama.jp**夏休み号**

一人ひとりの成果と課題を明らかにして
～成長を実感する、有意義な夏休みを～

学校長 後藤 俊哉



鷹乃学(たかわざ)を習う候となりました。初夏に生まれた鷹は、巣立ちの時季を迎えます。夏本番を迎えました。

1年生が育てている朝顔は、1年生の背丈を越え、色鮮やかに花を咲かせました。2年生は夏野菜を、3年生は蚕に代わり今年は鈴虫を育てております。これから各ご家庭で引き続き育て、観察を続けてまいります。ご協力をお願いいたします。

1年生は、登校してすぐに自分の朝顔を観察します。小さな一粒の種から発芽した双葉から、引き続き形の異なった本葉が生まれます。やがて本葉も大きくなり、枚数も増え、背丈が大きくなり、花を咲かせるこの過程は子どもにとって驚きの連続であり、このことが2年生の野菜の成長にもつながっていきます。

キュウリに朝顔と同じようなつるが出てきたことを見つけた子どもは、朝顔を育てた経験を想起して、キュウリにも支柱を立てようとするでしょう。すると、「やっぱりつるが棒につかまってユラユラしなくなったよ」と同じ特徴や性質、変化があることに気付くことが考えられます。

写真のお子さんはただ見るだけではなく、触ることで葉や花の特徴をつかみ、さらに花の中の構造にも気付き、花の特徴を実感します。このような探究の姿が、今求められている姿であり、この学びの中から資質・能力が育まれます。種ができ、枯れるまでの一連の成長を実感できるような観察ができますよう、ご家庭でもご協力をお願いします。

7月8日から16日まで、日頃子ども達の様子や4ヶ月間の成果と課題について個人面談をさせていただきました。昨年度から三学期制とし、7月までの1学期を「基礎づくり」としました。学級づくり、学年づくりに重点を置き、基礎・基本の定着を図ってまいりました。特に算数では、2年生からの少人数を拡大し、1・2年生は主にT・Tを3～6年生は少人数制を取り入れ、単元によって習熟度別のグループ編成による指導も取り入れました。

学校説明会でも申し上げたように、学力向上は喫緊の課題となっております。夏休みでも学習習慣をつかっていただければと思います。少なくとも「一日10分×学年」が机に向かって欲しい時間です。1年生なら10分以上、6年生なら60分以上です。課題の克服やさらなる飛躍を目指して、この夏休みを有効に活用していただければと思います。

学校としても昨年に引き続き、8月20日～22日に、地域コーディネーターの西野さんやケアプラザや地域の皆様、そして磯子高校に加え今年度は氷取沢高校の生徒のご協力をいただき「さわっち学習コーナー」を行います。多数の参加をお待ちしております。

「読み・書き・そろばん」と言われますが、まずは読むこと、例えば音読を一語一語ていねいに読み、内容が相手に伝わるように読むと、表現する力が付くだけでなく、さらに理解する力も高まってきます。声に出して読むことはとても重要です。各学年の課題にも出ておりますが、是非音読・朗読を聴いていただければ幸いです。そして聴いた後、一言感想を言ってあげてください。子どもにとってとても励みになります。

夏休みの課題は地域の方々にも公開します。地域の方々から「神奈川県青少年創意くふう展覧会」に推薦されることもあります。今からとても楽しみです。

今年度も本校では8月5日～16日を閉庁といたします。緊急の場合は、別掲にご連絡いただくようお願いいたします。

さあ、いよいよ夏休みです。心も体も一回り成長した子ども達に会えるのを楽しみにしております。